

様式第1号（第3条の2関係）
その1

工事施工状況報告書（鉄骨工事）

年 月 日

建築主事（指定確認検査機関） 殿

鉄骨工事が終了しましたので、建築基準法施行細則第3条の2第1項第1号の規定による工事施工状況報告書を提出します。この工事施工状況報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者 資格 () 級建築士 () 登録第 号
氏名
事務所名 () 級建築士事務所 () 登録第 号
住所
電話

建築物及び鉄骨工事の概要	建築主住所					建築主氏名				
	工事名称					建築確認	年 月 日 第 号			
	建築場所									
	主要用途			建築面積	m ²	延べ床面積	m ²			
	階数	地上 階・地下 階	軒の高さ	m	最大はり間	m				
	構造種別	S造・SRC造・その他 ()		架 構 形 式	ラーメン・ブレース・その他 ()					
	建築確認後の変更事項	変更の有無	有 ・ 無		届出年月日	年 月 日				
		変更内容								
	主要部材の使用部位並びに鋼材の種別及び重量	部 位 柱 はり その他	鋼 材 の 種 別	重 量	高力ボルトの種別	J I S 形	(F T) 径 (M)			
						トルシア形	(S T) 径 (M)			
高力ボルトの接合方法					接 合 方 法	摩 擦 ・ 引 張 り				
					締 付 方 法					
溶接継目の並びに鋼材の種別及び品質条件	工 場 溶 接	部位及び鋼材の種別	品 質 条 件	現 場 溶 接	部位及び鋼材の種別	品 質 条 件				
工事関係者	設 計 者	資格	() 級建築士 () 登録第 号		氏名					
		事務所名	() 級建築士事務所 () 登録第 号		氏名					
		住所			電話					
	構造担当者	資格	() 級建築士 () 登録第 号		氏名					
		事務所名	() 級建築士事務所 () 登録第 号		氏名					
	工事施工者	住所			電話					
		名称	建設業許可 () 許可 (-) 第 号		電話					
	鉄 骨 加 工 工 場	住所			代表者氏名	電話				
大臣認定		認定年月日	年 月 日	認定番号						
有効期限		年 月 日	工場ランク	J ・ R ・ M ・ H ・ S						
検 査 会 社	住所			代表者氏名	電話					
	名称			検査員氏名	資格					
添付図書	ア 鋼材、ボルト等の品質証明書の写し又は材料試験による強度試験報告書									
	イ 鉄骨加工工場が認定工場である場合は、認定証の写し									
	ウ 溶接部の非破壊検査報告書									
	エ 写真（開先形状、建て方、溶接部の外観及び非破壊検査、柱、はり、筋かい及び柱脚の寸法、形状及び鋼材寸法並びにアンカーボルトの据付状況）									
オ その他建築主事（指定確認検査機関）が必要と認める図書										

鉄骨加工工場及び工事現場における検査等の結果

検査等の項目		実施すべき検査等の方法	検査日	結果	再検査日	結果
I 書類等	1 鉄骨加工工場の選定	a 書類審査又は実地調査		可・不可		可・不可
	2 要領書、工作図及び検査規準の承認	a 設計図書との照合		可・不可		可・不可
		b 図書審査承認				
	3 溶接方法の承認（工場及び現場）	a 要領書審査又は承認試験		可・不可		可・不可
II 鉄骨加工工場における検査等の実施状況	4 溶接工の承認（工場及び現場）	a 資格証の確認又は技量試験		可・不可		可・不可
	1 使用鋼材等の品質	a ミルシートの確認又は材料試験及び溶接適性試験		可・不可		可・不可
	2 高力ボルト、スタッドボルト等の品質	a ミルシートの確認又は材料試験		可・不可		可・不可
	3 現寸	a 立会検査		可・不可		可・不可
	4 切断後の鋼材材質	a マーキングの確認又は立会検査		可・不可		可・不可
	5 工作及び組立て	a 開先形状、ルート間隔及びスカラップの検査		可・不可		可・不可
		b ボルト孔の孔径、ピッチ、ずれ及び端空きの検査				
		c 裏当て金及びエンドタブの検査				
		d 仮付溶接の確認				
		e 仕口のずれ及び溶接ひずみ対策の確認				
	6 製品の社内検査実施状況	a 製品の社内検査報告書の確認		可・不可		可・不可
	7 製品の受入れ	a 寸法精度検査		可・不可		可・不可
		b 取合部検査				
		c 溶接部の外観検査（精度及び表面欠陥）				
		d 塗装状況の検査				
		e 貫通孔補強の検査				
		f スタッド溶接検査（打撃曲げ試験等）				
		g 溶接部の超音波探傷検査				
		h 補正検査				
		i 検査会社等における工場溶接の検査		可・不可		可・不可
III 工事現場における検査等の実施状況	1 RC部との接合（柱脚等）	a 設計図書との照合		可・不可		可・不可
	2 アンカーボルトの埋込み、締付け等	a 径、長さ及び取付位置の確認		可・不可		可・不可
		b ならしモルタル又はグラウトモルタルの充填の確認		可・不可		可・不可
		c 締付けの確認		可・不可		可・不可
		d 認定品露出型固定柱脚の仕様確認		可・不可		可・不可
	3 建て方及び建て方精度	a 建入れ直しの確認		可・不可		可・不可
		b 仮締めボルトの確認		可・不可		可・不可
		c 倒壊防止措置の確認		可・不可		可・不可
		d 建て方精度の検査		可・不可		可・不可
	4 高力ボルト接合	① 高力ボルトの受入れ	a 現場軸力導入試験	可・不可		可・不可
		② 締付機器の調整	a キャブレーション試験	可・不可		可・不可
		③ 組立て	a 本数、径及び添え板の確認	可・不可		可・不可
			b 摩擦面の処理の確認（赤さび発生等の確認）			
			c 食違い及び肌すき検査			
	④ 締付け	a 一次締め及びマーキングの検査		可・不可		可・不可
		b ピンテールの破断の確認（トルシア形の場合）				
		c 本締検査（JIS形の場合）				
		d 共回り及び締忘れの確認				
	5 現場溶接	a 溶接作業条件（足場、天候、予熱等）の確認		可・不可		可・不可
		b 開先形状、ルート間隔及び目違いの確認				
		c 裏当て金、エンドタブ及び仮付溶接の確認				
		d 溶接部の外観検査（精度及び表面欠陥）				
		e 溶接部の超音波探傷検査				
		f 検査会社等における現場溶接の検査		可・不可		可・不可
IV 考察	(鉄骨加工工場での不具合の処置及び検査結果の考察)					
	(工事現場での不具合の処置及び検査結果の考察)					

工事施工状況報告書（鉄筋コンクリート工事）

年 月 日

建築主事（指定確認検査機関） 殿

鉄筋コンクリート工事が終了しましたので、建築基準法施行細則第3条の2第1項第1号の規定による工事施工状況報告書を提出します。この工事施工状況報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者 資格 () 級建築士 () 登録第 号

氏名

事務所名 () 級建築士事務所 () 登録第 号

㊞

号

住所

電話

建築物及び鉄筋コンクリート工事の概要	建築主住所			建築主氏名			
	工事名称			建築確認	年 月 日 第 号		
	建築場所						
	主要用途			建築面積	m ²	延べ床面積	m ²
	階数	地上 階・地下 階	軒の高さ	m	最大はり間	m	
	構造種別	RC造・SRC造・その他 ()		架構形式	ラーメン・壁式・その他 ()		
	建築確認後の変更事項	変更の有無	有 ・ 無	届出年月日	年 月 日		
	変更内容						
	レディー	製造工場	名称			JIS表示認証番号	
	ミクスト	住 所			工事現場までの距離及び所要時間	km 分	
コンクリートの仕様	セメントの品名・種別及び製造工場			混和材料の品名・種別			
骨材種別	産地及び種別	最大寸法	塩 分	洗い試験で失われる量	粘土塊量	アルカリ骨材反応試験方法判定	
細骨材			%	%	%		
粗骨材		mm			%		
設計スランプ	cm	設計強度	N	調合強度	N		
工事関係者	設計者	資格 () 級建築士 () 登録第 号	氏名				
		事務所名 () 級建築士事務所 () 登録第 号	氏名				
		住所	電話				
	構造担当者	資格 () 級建築士 () 登録第 号	氏名				
		事務所名 () 級建築士事務所 () 登録第 号	氏名				
	住所	電話					
工事施工者	住所	電話					
	名称	建設業許可 () 許可 (-) 第 号					
コンクリート圧送会社	住所	電話					
	名称	建設業許可 () 許可 (-) 第 号					
検査会社	住所	代表者氏名		電話			
	名称	検査員氏名		資格			
添付図書	ア	鋼材等の品質証明の写し又は材料試験による強度試験報告書					
	イ	レディーミクストコンクリート製造工場がJIS表示認証工場である場合は、認証書の写し					
	ウ	圧接部の強度試験報告書					
	エ	写真（鉄筋圧接部の外観及び破壊検査並びに柱、はり、床及び壁における鉄筋組立状況）					
	オ	レディーミクストコンクリート配合報告書、骨材試験報告書及びフレッシュコンクリートの試験報告書（スランプ、空気量、塩化物量等）					
カ	その他建築主事（指定確認検査機関）が必要と認める図書						

工事現場における検査等の結果

検査等の項目		実施すべき検査等の方法			検査日	結果	再検査日	結果	
I 書類等	1 鉄筋加工組立会社の選定	a 書類審査又は実地調査				可・不可		可・不可	
	2 コンクリート製造工場の選定	a 書類審査又は実地調査				可・不可		可・不可	
	3 コンクリート圧送会社の選定	a 書類審査又は実地調査				可・不可		可・不可	
	4 ① 施工計画書等 ・鉄筋工事施工計画書 ・コンクリート工事施工計画書 ・型枠工事施工計画書 ・レディーミクストコンクリート配合報告書	a 設計図書との照合				可・不可		可・不可	
	② 各工作図 ・構造体施工図 ・鉄筋工作図 ・型枠施工図	a 設計図書との照合				可・不可		可・不可	
	5 圧接方法の承認	a 要領書審査又は承認試験				可・不可		可・不可	
6 圧接工の承認	a 資格証の確認又は技量試験				可・不可		可・不可		
II 工事現場における検査等の実施状況	1 使用鋼材等の受入れ		a ミルシートの確認又は材料試験				可・不可		可・不可
			b メーカーマークの確認						
	2 柱	① 主筋の径及び本数	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		② 主筋の定着長さ	a 設計図書との照合及び計測						
		③ 主筋継手の長さ及び位置	a 設計図書との照合及び計測						
		④ フープ筋の径、ピッチ等	a 設計図書との照合及び計測						
		⑤ 主筋端部の処理	a 設計図書との照合及び計測						
	3 はり	① 主筋の径及び本数	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		② 主筋の定着長さ	a 設計図書との照合及び計測						
		③ 主筋継手の長さ及び位置	a 設計図書との照合及び計測						
		④ ストラップ筋の径、ピッチ等	a 設計図書との照合及び計測						
		⑤ 開口部補強	a 設計図書との照合及び計測						
	4 床	① 主筋の径及びピッチ	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		② 主筋の定着長さ	a 設計図書との照合及び計測						
		③ 主筋継手の長さ及び位置	a 設計図書との照合及び計測						
		④ 出隅入隅部補強	a 設計図書との照合及び計測						
		⑤ 開口部補強	a 設計図書との照合及び計測						
	5 壁	① 主筋の径及び本数	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		② 主筋の定着長さ	a 設計図書との照合及び計測						
		③ 主筋継手の長さ及び位置	a 設計図書との照合及び計測						
		④ 開口部補強	a 設計図書との照合及び計測						
		⑤ 構造スリットの位置及び形状	a 設計図書との照合及び計測						
	6 圧接継手		a 圧接作業条件（足場、天候、予熱等）の確認				可・不可		可・不可
			b 圧接部の外観検査（精度及び表面欠陥）						
			c 検査会社等における圧接部の検査				可・不可		可・不可
	7 型枠	① 柱、はり、スラブ及び壁寸法	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		② 建込みの位置及び精度	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		③ 締付金物の位置及び数量	a 施工計画書との照合				可・不可		可・不可
		④ 目地材及び打継部の処理	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
		⑤ せき板及び支保工の配置	a 施工計画書との照合				可・不可		可・不可
		⑥ かぶり厚さ	a 設計図書との照合及び計測				可・不可		可・不可
かぶり厚さの最小値		部 位	土に接しない部分				土に接する部分		
		柱	屋 外	cm	屋 内	cm	cm		
		屋根板	屋 外	cm	屋 内	cm	cm		
		床 板	下 端	cm	上 端	cm	cm		
		は り	屋 外	cm	屋 内	cm	cm		
		耐力壁	屋 外	cm	屋 内	cm	cm		
（工事現場での不具合の処置及び検査結果の考察）									
III 考察									